

令和2年3月23日

渡辺(ひ)委員

2点だけ質問させてもらいます。先行会派の委員が縷々、確認をしましたので、重ならない形で端的に質問したいと思いますが、まず初めに、健康医療局関係で感染症患者の受入体制の整備についての項目があります。先ほど医療機関等の整備費補助についての説明がありました。これについては理解をしますが、答弁の中で簡易ベッド等の整備等に併せて、ECMOを整備するという答弁がありました。感染者の数が多少増えても、最終的には亡くなる方を減らしていく、増やさない、この取組が非常に重要だと思います。現状の新型コロナウイルス感染症に対して、全国の医療機関の中で、ECMOという人工肺、これが非常に有効だという報道もあります。先ほどその整備という答弁もありましたので、まず、これについて確認をしたいのですが、現状、このECMOという器械がどのぐらいの施設に何台ぐらいあるか、把握していますか。

健康医療局長

人工肺ECMOの県内の数ですが、先週末時点で45病院に93台配置しています。

渡辺(ひ)委員

今回の補正で整備をする台数で現場が回っていくのかどうかしっかり検証して、今後、例えば、他の国のように感染者数が増えたときに、感染者が増えることについてはその対策を行わなければいけません。死亡者を減らすという体制の中で、神奈川県を中心的な医療機関があり、そこに全て配備されていると思いますが、それなりに広げていくときに台数が足りているのかどうか、この辺はしっかり把握した上で対応をお願いします。

もう1点だけ、福祉子どもみらい局関係の補正の中で、先ほど来質問が出ています。マスクだとか消毒液、これについての様々な施設に対する補正予算があがっています。その中でこの補正とは直接関係ないかもしれないので答弁できないかもしれませんが、私のところへ届く声の中で、まだまだ民間の薬局やドラッグストアでマスクが不足している。そのことについて、片や国が一括購入するとか、県が云々という報道が流れる中で、そういう優先的な購入が図られているがゆえに、一般の方々が購入するマスクが流通していないのでは、という声の一部あります。そういう意味からすると今回の補正の中で必要の優先順序の高いところに医療、福祉、介護、こういう現場に優先的に配布していく。この取組は評価するわけですが、あわせて、神奈川県行政としては、県民の感染を防ぐという意味から、特別な取組には入っていない、一般の県民がマスクを一日でも早く購入できる体制に対する働きかけも大事だと思うのですが、この辺は今のところどのように考えているのか、さらにどんな取組を行っているのか、答弁ができる範囲で伺います。

健康医療局長

委員から話があったように、例えば、健康医療局に関しては医療機関中心、福祉子どもみらい局に対しては介護関連施設、国はマスクの生産ラインをつく

ったところへの経費の支援などを行う、マスクの増産支援を行っており、国全体としてマスクの供給体制を確保しようということは承知しています。県としても、医療用だけでなく、一般の方を含めて足りない資材について、できるだけ供給がされるよう要望はしているところです。

渡辺(ひ)委員

各当局でその辺の取組はされていると思いますが、多くの方々が動くということを考えれば、そういう取組が抜けていると不十分になると思いますので、県民のことを考えた、今答弁があったような取組も併せて促進していただくことを要望して、私の質問を終わります。